



一般社団法人日本ボリビア協会

ASOCIACION NIPPON-BOLIVIA

1989年 国際サン・セバスチャン
映画祭金貝殻賞
同年 ハバナ新ラテン
アメリカ映画祭グラ
ウベル・ホーシャ賞
及び審査員特別賞

地下の民

La Nación Clandestina

監督：ホルヘ・サンヒネス
製作：ボリビア・ウカマウ集団
1989年/カラー/35ミリ/125分

—先住民の死と再生の物語。
民族的アイデンティティと近代化された都市に生きる自分が
交差するとき、彼はどう生きるのか。

(一社)日本ボリビア協会主催 映画上映会

2018年8月31日(金)

会場：ラテンアメリカサロン
(在日 ボリビア大使館のある8階会議室)

料金：500円(ボリビアの軽食付)

申込〆切：8月20日(先着40名)

申込先：admin@nipponbolivia.org

042-673-3133(当日09093907651)

当日スケジュール予定

| | |
|-------|--------------------------------|
| 17:00 | 開場 |
| 17:30 | 開会 |
| 17:35 | 野原氏より被災地報告： 聖マルティンの家 in CBB |
| 18:00 | 太田氏より映画紹介 |
| 18:10 | 上映開始 |
| 20:20 | 上映終了 |
| 20:25 | 太田氏を囲んで座談会 |
| 20:45 | 閉会 |

会場アクセス



港区西麻布4丁目24番地
興和ビル(第38興和ビル)
都営バス「西麻布」徒歩2分
地下鉄「乃木坂」駅徒歩12分
地下鉄「六本木」駅徒歩13分



「聖マルティンの家」復興への募金協力のご案内

「聖マルティンの家 (CAPEDIS)」は、元カリタス会のシスター・野原昭子さんが、1999年に、たった一人で、ボリビア・コチャバンバに開設した障害者自立支援施設です。現在、約10名の入所者が暮らしていますが、本年2月6日に35年振りと言う大雨で近くを流れる川が氾濫し、土石流がこの施設の周辺を襲いました。近辺の家屋は押し流されて大きな被害をうけましたが、幸いにも、「聖マルティンの家」は奇跡的に直撃を免れ、深さ50cmの泥が内部に入ったものの、入所者は二階に逃れて無事でした。しかし、道路が土砂に埋まり寸断されて、生活物資の入手が困難となり、水道が停止するなど3月末までの約1か月は不自由な毎日が続きました。

現在はなんとか復旧に漕ぎ着けましたが、泥の埋まった施設内の清掃や、浸水で使用不能になった器具や設備の購入に臨時の出費が発生し、もともとギリギリの予算で運営していた施設の経営は、大きなピンチに陥っています。野原氏も「聖マルティンの家」一同も、一日も早く復興すべく、同地の日本人会をはじめとするボランティアの方々のご支援も得て頑張っていますが、何しろ経済的基盤の弱い施設であるため、自力だけでは限界があります。

今回は7月下旬から8月末まで、野原氏自身が、約1か月間に亘り日本各地を訪問し支援者の皆様から復興のための募金をお願いしております。

どうぞ、映画会に参加される皆様も、ご芳志を「聖マルティンの家」のためにお寄せ頂きますよう、ご案内申し上げます。

2018年8月

一般社団法人 日本ボリビア協会

【災害直後の現地の様子】

